



グリーン・カーテン

植物の日よけにチャレンジしたいけれど、ネットを張ったり、支柱を立てたりは面倒……。そんな時は、垂れ下がって伸びる品種にチャレンジしてみてください。暑さ対策だけでなく、見た目も涼しくなりますよ。



垂れ下がって生長する植物は、ネットや支柱なしでグリーンカーテンが作れる。気温の高い日中、葉や茎から水分を蒸散し、周囲の熱を奪って周辺温度を下げてくれる。上手に育てると、「テラス ライム」は1㎡程度まで、「グラリオ」は2㎡以上に生長する。

根を張って大きく生長する品種は、プランター内の土の深さや株と株の間隔も必要。「テラスシリーズ」や「グラリオ」は、適度に水もちする用土に、30㎝ほどの間隔を空けて植え付ける（60㎝プランターなら2〜3株）。

【節電の夏を涼しく】

- 夏の日中、建物の外壁は暑い日差しで焼かれ、建物自体が熱を持ちます。グリーンカーテンには、窓やベランダから室内に入る日差しを防ぐ
 - 壁に当たる日を遮り、建物の温度上昇を抑える
 - 葉から水分を蒸散させ、周辺の温度を下げる
- という効果があります。東日本大震災以来、節電の必要性が高まっています。たくさん葉を茂らせ、暑い夏を快適に過ごすために、今から準備を始めてくださいね。

【垂れ下がるタイプも】

植物の日よけでは、ネットをはい上らせるゴーヤやヘチマがポピュラーです。でも、ネットや支柱は場所を取るのです。二の足を踏む人も多いですね。一方、垂れ下がる品種は楽ですが、暑さに弱い、葉のポリウムが少ないなどの弱点があり、これまで日よけにはあまり活用されませんでした。

最近では、生長が早く、大きな面積を覆える品種が出回り、初心者もトライしやすくなっています。ベランダや出窓などに置くと、自然に下へ伸びて、きれいで涼しいカーテンを作ってくれます。ハンギングバスケットにして、軒下につるすのも素敵ですね。

【効率よく生長する品種】

生長力が強く、効率的にグリーンカーテンが作れる品種に、サントリーフラワーズの「テラスシリーズ」や「グラリオ」があります。「テラスシリーズ」は葉からの水分の蒸散能力が高く、特に明るく鮮やかな葉色の「テラス ライム」は、光の反射率が高く、日光や熱を効率的に遮ります。「グラリオ」は白やローズ色のかれんな花が咲き、彩りも楽しめるのが魅力です。

● 「緑と暮らそう」のバックナンバーは本誌ホームページで見られます。ネコ太・チュウ太も活躍していますよ！ お気楽Life、今まで身に着けた衣装やかぶり物、たくさんのもたち……かわいい姿が満載です。「読売ライフ」で検索してみてください。



垂れ下がる品種は、鉢植え（テラスメープル）やハンギングバスケット（グラリオ）にしてもステキ♡



グリーンで涼しく、さわやかな印象が作れる



赤い花が印象的な「グラリオ ラージローズ」



光の反射率が高い「テラス ライム」